



2018年 12月号

医愛祭

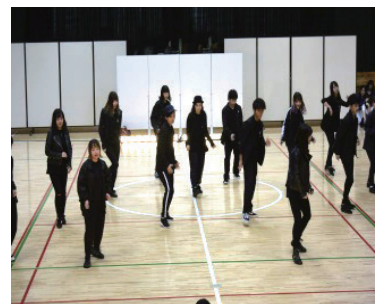


2018年度 第14回 医愛祭が開催されました。

11月3日・4日



今年は船橋キャンパスの学生も初参加し、和歌山でも第1回目の医愛祭が開催されるなど、新しいことづくめの医愛祭でした。世田谷キャンパスでは2日間で約1200名の来場者を迎え、地域の方々にも本学の特色を知ってもらえたのではないかと思います。2日間で延べ100名を超える卒業生も来ていただきました。大学祭実行委員の皆さんお疲れ様でした。来年以降も、さらに活気のある楽しい医愛祭となるよう全学一体となって活動していきましょう！



2018年度 第1回 医愛祭が雄湊キャンパスで開催されました。

11月3日・4日

雄湊キャンパスでは初めての医愛祭を行いました。学生と教職員が一体となり右往左往しながらもとても楽しい2日間でした。また、和歌山市長の尾花様も来学され、医愛祭を楽しんでいらっしゃいました。



駐日トルコ共和国特命全権大使が来学されました。

10月19日

10月19日に駐日トルコ共和国特命全権大使ハサン・ムラット・メルジャン閣下を招き、講演会を開催しました。和歌山看護学部での講演でメルジャン大使は1890年に串本町沖で遭難したトルコ軍艦エルトゥールル号の事故や、イラン・イラク戦争時の1985年にトルコ航空機がイランから日本人を救出した歴史を振り返り、日本とトルコは事件や事故をきっかけに深く結び付いてきたことなどを紹介してくださいました。大使のユーモアを交えながらの講演に学生たちは引き付けられていました。また、12月にはトルコ大使館の昼食会にご招待いただくなど、今後も交流を深めてまいります。

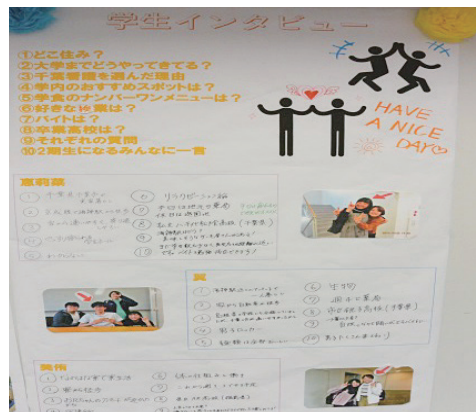
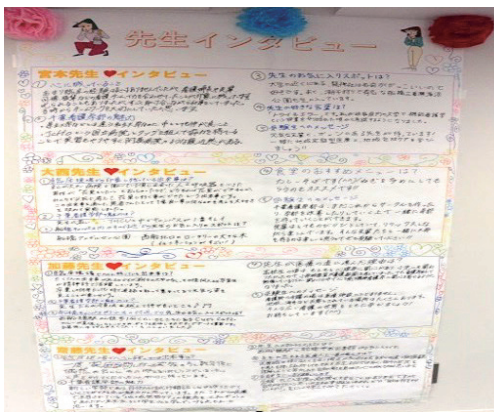


第14回 医愛祭に初参加しました。

11月3日・4日

千葉看護学部は医愛祭に初参加しました。今年新設のため、まず私たちの学部を知ってもらおうという趣旨のもと展示物を提示し、憩いの場としてお菓子や飲み物を振る舞うことにしました。10月から1ヵ月という短い期間のなかで、実行委員は教員や学生にインタビューをしたり、お菓子の買い出しに行ったり積極的に準備を進めてくれました。いよいよ当日、誰が来てくれるかなどドキドキしていましたが、近隣のたくさんの小さなお客様が来場してくださり、学生と一緒に塗り絵や折り紙を楽しんでくださいました。中には2日間連続で来てくださったお子さんもいて、とても嬉しかったです。一緒に来られた保護者の方々には、展示物を見ながらお菓子や飲み物で一息ついていただきました。また、受験希望者も来場してくださり、学生が大学生活や寮生活のことなどを丁寧に説明していました。2日間で延べ330名近くの方が来場してくださり、企画は大成功だったといえましょう。学生も教員も思い出深い医愛祭となりました。来年以降も千葉看護学部ならではの特色のある企画を考えていきたいと思います。

精神看護学:准教授 加藤 星花



「ふなばし健康まつり(テーマ:家族)」に出展しました。

11月4日

千葉看護学部は、船橋市が健康増進計画「ふなばし健やかプラン21」を推進するために実施しているイベント「ふなばし健康まつり(テーマ:家族)」に出展しました。大学ブースでは、学生たちがお子様連れの家族、シニアのご夫妻、お友達同士など、多くの市民の方々とコミュニケーションをとり、健康な暮らしをご家族で楽しめるような場所をご推薦頂いて、大きな船橋市の地図にマッピングしました。その他にも、船橋市保健所・保健センターなど4つのブースに学生ボランティアとして参加し、禁煙・生活習慣病予防啓発、乳児の身体測定、アニサキス等の感染予防などの活動を実施しました。参加した学生たちは、とても生き活きと地域に触れながら活動していました。船橋市特産のホンビノス貝の浜焼きもおいしかったです。

地域看護学領域:准教授 伊藤美千代





11月7日に、隣接するJCHO船橋中央病院附属看護専門学校の大講義室をお借りしてジャズハープ演奏・講演会を開催しました。演者・講師の古佐小基史(こさこもとし)さんは東京大学で保健学・看護学を学んだあと臨床を経て渡米し、現在はプロハーピスト、作曲家、即興演奏家として日米で活躍されておられます。当日の演奏に用いたグランドハープの音色は優雅な印象を持たれますが、様々なテンポや奏法により様相を変えながら体全体に訴えかける迫力を感じました。演奏の合間には古佐小さんから人間の健康と環境の関係、そして私たちが今の生活の中で五感で感じているものを見つめ直してみた時に、聴覚に訴えかける音楽は、生理学的にも心理的にもまず害はなく、個人が比較的安価で選択しやすいものであることから、トータルヘルスを目指すうえでの生活習慣の改善において、活用しやすいことなどをお話いただきました。最後には、実際にハープを触らせていただき、弦を弾くためにはかなりの力が必要で、私たちでは音もでないくらい大変であることを体験しました。古佐小さんが「音楽を楽しんでもらうためには、自分自身が心身ともに健康でなければ」とおっしゃっていたことも良くわかりました。

老年・在宅看護学領域:教授 清水準一

五反田キャンパス

「THCUメディテーションセンター ヨガ入門講座」が開催されました。

9月28日



2018年9月28日五反田キャンパス体育館にて本学で7回目の「THCUメディテーションセンター ヨガ入門講座」が開催されました。

医療保健学部、東が丘・立川看護学部だけでなく初めて千葉看護学部からも参加がありました。また、今回参加者全員が1年生というフレッシュなメンバーでした。夏の疲れを癒し、後期の授業に向けリフレッシュできたことと思います。今後もメディテーションセンターでは「ヨガ入門講座」を開催していきますので、皆さんの参加、お待ちしております。

東が丘・立川キャンパス

立川市主催の「立川駅帰宅困難者対策訓練」が行われました。

11月12日



本学としては今年で2回目の参加となり、災害看護学コース2年次生37名が帰宅困難者役として参加しました。今回の訓練からは立川駅南口にも訓練範囲を拡大し、これまでの訓練結果も踏まえ、帰宅困難者の一時滞在施設への誘導や受入れ等を適切に行えるか検証する目的としています。当日は雨も心配される天候でしたが、晴れ間の見える天候となり、とても有意義な訓練となりました。近い将来発生が懸念される首都直下地震に対して、多くの市民が不安を抱いています。日頃より防災意識を高めて今後も継続してよりよい地域貢献ができる学生活動へつなげたいと思います。

編集後記

今年も残すところあと1ヵ月となりました。平成最後のクリスマス。平成最後のお正月になりますね。今年を振り返りそれぞれの目標に向かって、前進しましょう！！

発行日2018年12月1日 発行 学生支援センター

東京医療保健大学